

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

平成30年 8月13日 (月)

2 確認箇所

4号機タービン建屋周辺 (サブドレンピットNo. 55)

3 確認項目

サブドレンピットNo. 206水位監視不能事象を受けての他サブドレンピットの点検実施状況

4 確認結果の概要

昨日 (8月12日)、サブドレンピット No. 206 において水位計偏差大の警報^{※1}が発生し、東京電力は正確なサブドレン水位を監視できていないと判断した。

昨日中に東京電力が現場を確認したところ、水位計が下方へずれていた。当該ピットの水位計のずれは昨日中に解消されたが、その他 41 箇所のサブドレンピットについても同様な事象の発生の有無を確認するため、本日点検が行われた。このため、サブドレンピット No. 55 の点検作業に立ち会った。

- ・点検は、まずサブドレンピットのカバーを外し、2つの水位計のケーブルが白いマーキングテープの位置からずれていないことを確認していた。さらに、ケーブルを結束バンドで地面にボルトで固定された柱に固縛する処置を行っていた。(写真1)

なお、41 箇所のサブドレンピット水位計の点検は本日 15 時 15 分に完了し、全て異常が無いことが確認された。

- ※1 サブドレンピットには水位計が2つ設置されている。その水位計同士の値のずれ(偏差)が大きくなったため発報したもの。



(写真1)

2本の黒いケーブルが水位計ケーブル

5 プラント関連パラメータ等の確認

各パラメータについて、前日と比べ有意な変動は確認されなかった。